

小池は剣士を育てる

小池自治会剣道部は昭和36年に創部され昨年60周年を迎えました。60周年の節目の年に東京都から「令和4年度東京都青少年健全育成成功労団体」として表彰されました。

故剣道範士九段 岸川辰次先生（享年91歳）が、青少年の健全な育成を目的に掲げ、小池自治会のご協力の下、長年、子供達のご指導に当たられました。ご子息 故岸川明先生（享年69歳）は、その遺志を継がれ、これも長年、あふれる愛情をもって子供達への剣道指導を続けられ、幾多の優秀な先輩を育てられました。

お二人が望まれた剣道の理念を胸中に、剣道を通じて「体、気、技」の向上を図り礼儀を重んじて、人間形成を目的として稽古しています。

主な稽古場所は小池小学校体育館か小池自治会館で毎週水曜日と土曜日に小学生・中学生の少年部と高校生以上の一般部で、秋の部内錬成大会と大田区大会（春の個人戦、秋の団体戦）での上位進出を目指して活動しています。

（小池自治会剣道部部长・五十嵐 清裕）



（小池自治会剣道部第60回少年剣道錬成大会 令和4年10月）

自治会リレー記事：南雪谷自治会 「この春、行事を復活します！」

南雪谷自治会では、雪が谷大塚駅周辺の商店を束ねるミユキ協栄会、雪谷商店街と雪谷おやじの会と協力して、2月12日に「おもちつきだよ全員集合！」と題して餅つき大会を開催しました。また、3月26日には「南雪谷さくらフェスタ」と題して、お花見を中心としたイベントを開催の予定です。

餅つき大会では、昨年、駅の近くに部屋を構えた武隈（たけくま）部屋の力士の方々に杵をついていただきました。きな粉餅やあんこ餅、ちょっと冒険したオーロラソース餅にして販売し、好評のうちに約600名もの皆さんに購入していただきました。また、獅子舞やゆきがや太鼓の演奏、中国雑技団の演技なども行われ、多数のお子さん連れの方に楽しんでいただきました。参加者でござった返す会場の整理にあたっては、消防団の方々にお世話になりました。

お花見では、さくらが満開となる日下山（ひげやま）公園で開催するほか、会員の皆さんの書画・写真・手芸・コレクションを展示するギャラリー、フリーマーケット、模擬店やゲームなども行います。

これからのイベントで、長いコロナ禍の間に途切れてしまった人々のつながりが少しでも元に戻ればと願っています。

（南雪谷自治会・鈴木 千恵子）

** 編集後記 **

春を迎える喜びが溢れる見事な枝垂桜の表紙です。今年も表紙は、今成さまにお引き受けいただきました。奥さまの文章と共に、皆さまの身近なスポットをお楽しみ下さい。

ところで、コロナ禍を吹き飛ばす勢いのトップ記事は、石中、初のNHK合唱コンクールへのチャレンジでした。先生・生徒が一丸となつての短期集中、しかも都予選金賞の快挙…、プラボーな一歩でしたね。大森十中の地域一体となつての職業体験も将来への貴重な経験でした。そして長年の研鑽の賜物、小池自治会剣道部への東京都からの表彰は、地元の方々の誇りと共に刻まれました。竹刀（しな）を振り稽古に励む子供たちの写真に思わず背筋が伸びました。

自治会リレー記事の餅つき大会は、武隈部屋の力士の御協力もあり、盛況な様子が伝わってきました。

春もたけなわ、マスクを外してそろそろ穏やかな春の息吹を思う存分吸いたいものですね。

（池の台・柏 三八子）

【編集委員】

笹丸・小久保 衛子／雪谷石川台・倉田 清子／南雪谷・河野 洋一郎／東雪谷東中・小山 智恵子／池の台・柏 三八子／小池・小山 憲生／上池上・船山 康夫

ふれあい雪谷（創刊：平成2年12月20日）年4回発行
（1月・新年号／4月・さくら号／7月・あさがお号／10月・もみじ号／の1日発行）

【発行日】 令和5年 さくら号 4月1日（通巻 第130号）発行

【発行】 地域力推進雪谷地区委員会【編集】ふれあい雪谷編集委員会

【連絡先】 大田区地域力推進部雪谷特別出張所

〒145-0065 大田区東雪谷三丁目6番2号 ☎3729-5117 FAX3729-1826

ふれあい 雪谷

令和5年4月 さくら号 通巻第130号



洗足流れ

桜並木が、荏原病院の裏門辺りで途切れると洗足流れは住宅街に入ります。流れに沿って歩いてゆくと、一本の枝垂桜。道行く人は、思わず感嘆の声を上げて、桜の梢を見上げます。もう一つの春が、そこにあります。

（小池・今成 修さんの作品）

「ふれあい雪谷」のホームページは
こちらからご覧いただけます。



ある教師の挑戦

「校長先生、相談があります。」
5月半ばにさしかかった頃の夕方、本校のある男性教員が私のところにやってきました。彼は音楽科で、吹奏楽部の顧問をしています。いったい何があったのかしらと不思議に思いながら校長室に招き入れると、彼はこう言いました。

「Nコンに出ようと思うんです。」

Nコンとは、NHK全国学校音楽コンクールのことです。NHKと全日本音楽教育研究会が主催する、80年以上の歴史をもつ有名なコンクールで、出場するには相当の覚悟が必要です。私はこうたずねました。

「Nコン…すごいこと考えるね。うちの学校、合唱部ないけど、メンバーは？そもそもNコンっていつ？」

「有志を集めようと思います。Nコンの東京都予選は、7月の終わりで…。」

予選まであと2か月余り。時間がありません。彼は続けてこう言いました。

「コロナ禍でいろんなことが制約されています。だからこそ新しいことにチャレンジして、生徒に達成感を味わわせたいんです。異学年交流のいいチャンスです。」

校長室で彼の具体的なプランを聞き、作戦会議を行いました。翌日、彼は1枚のプリントを作ってきました。

「合唱で石中を盛り上げよう！～Nコンにチャレンジ～」

1年～3年の男女26人が集まりました。皆それぞれに部活や習い事を調整し、短時間集中しての練習。

グループ名は「玲瓏畑団(れいろうはたけだん)」と決めました。私は国語科ということで、課題曲の歌詞の解釈を生徒と共に行いました。そして迎えた7月30日(土)、Nコン都予選において本校はなんと金賞を受賞！本選へ出場することになったのです。

本選はさすがにハイレベルで、残念ながらその先に進むことはできませんでした。でもとても勉強になりました。何より生徒の顔が晴れ晴れとしていたのが印象的です。

Nコンチャレンジは、他の先生方のよい刺激となりました。12月には本校初の全校レクリエーションが企画され、先生も生徒も一体となり、学校全体が大いに盛り上がりました。学校にとって生徒は宝です。その宝を磨くために頑張る先生方がいます。そんな先生方の思いを受け止め、一緒に頑張っていけるよう、私は今日も校長室の扉を開けて、いつでも彼らが相談に来られるようにしています。石中の挑戦は、まだまだ続きます！

(大田区立石川台中学校・小菅 みちる)



地域に育まれる大森十中

令和4年4月より大田区立大森第十中学校に副校長として着任しました、猪越(いのこし)孝一と申します。御縁があり、大田区の中学校に参りましたが、生まれも育ちも、そしてこれまで教員として20年間で着任してきた学校もいわゆる下町の「城東地区」で、大田区を訪れる機会はさほど多くありませんでした。今は地域を歩きながら、その街並みや自然を新鮮に感じているところです。

さて、着任した大森第十中学校ですが、校舎や校庭などの敷地も広く、生徒は学習や運動、部活動などに日々励んでいます。コロナ禍による制限は未だありますが、運動会や十字祭(文化祭)など、できる限りの教育活動を実施しています。また、昨年9月には、2学年の生徒が地元の事業所や公共施設で「職業体験」を行いました。3年ぶりの実施となりましたが、地域の皆様の御協力も賜り、生徒は皆、貴重な体験をさせていただきました。

改めてお礼申し上げます。

御承知のとおり、学校教育は学校だけで行われるものではありません。学校、家庭、そして地域が一体となって生徒を育てていくことが今後より一層求められます。引き続き、地域の皆様より本校への御支援を賜りますようお願い申し上げます。

(大田区立大森第十中学校・猪越 孝一)



雪谷地区の表彰者

○社会福祉功労者厚生労働大臣表彰

永久保 孝治

○全国保護司連盟理事長表彰

海老澤 信吉

○関東地方保護司連盟会長表彰

蓮池 崇

○東京保護観察所長表彰

荒井 昭二 北川 正訓 中野 雄大

○東京都保護司会連合会会長表彰

平間 誉弘

○大田区区政功労者表彰

大槻 生 小野澤 正幸

○大田区防災市民組織等感謝状贈呈

上野 健一

○大田区青少年表彰

大島 美礼 福井 美南 今井 柊羽

(敬称略)

勝海舟生誕200年プロジェクト！ 海舟ゆかりの大森第六中学校と勝海舟 記念館がコラボし、新たなデジタルコ ンテンツを制作しました

今年は勝海舟生誕200年の節目にあたります。このことを記念し、大森第六中学校の生徒会を中心としたメンバーと勝海舟記念館が協働し、「歴史を学ぶ前の子どもたちにも勝海舟の魅力伝えたい！」をテーマに、新たなデジタルコンテンツを制作しました。

本プロジェクトが始動したのは昨年7月、勝海舟記念館を見学した生徒の皆さんと意見交換したことがきっかけでした。

「見慣れない漢字が多くて読めない。」

「展示パネルに聞きなれない言葉がたくさんあった。」

「勝海舟の魅力をもっと多くの人に知ってもらいたい。」

そこで、生徒の皆さんが疑問に思ったことや、わからなかった言葉を調べ、勝海舟記念館の学芸員のサポートを受けながら、勝海舟について「功績」「ゆかりの人物」「役職」という3つのテーマで紹介するデジタルコンテンツを完成させました。いずれも、小学生の読者も想定し、漢字にはよみがなをふり、かみ砕いたやさしい表現で書かれています。3つのコンテンツを読むと答えられる、オリジナルクイズもあります。

コンテンツは現在、大田区ホームページで公開中ですの、ぜひご覧ください。

(下の二次元バーコードから区ホームページにいけます。)

【記念館情報】

令和5年は、勝海舟77年の生涯を家族や身近な人の視点から紐解く、『勝海舟生誕200年記念特別展』を4会期にわたって開催予定です。第1回目となる「プロローグ出帆 麟太郎と四人の先達たち」は4/16(日)まで開催。4/17～20は展示替えのため休館し、4/21(金)～次回展が始まります。

ぜひ全会期ご覧ください！

コンテンツは
こちら

